

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・32〉	いわき市立宮小学校
〈実施日〉	平成 28 年 7 月 13 日 (水)	
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()	
〈実践内容〉	「放射線について学ぼう」 1. 「放射線」のイメージについて発表する。 〈児童の反応〉 ・ きけんなもの ・ 菌のようなもの 2. 身の回りの放射線について知る。 「放射線教育用 学習教材DVD 福島県教育委員会 『放射線について知ろう』小学校中学年用」を試聴する。 〈児童の感想より〉 ・ 放射線も水と同じで多すぎると危険。 ・ 放射線は危ないものだと初めて知った。 ・ 身の回りに放射線がたくさんあることが分かった。 ・ あまりよくないものだと思っていただけ、色々なものに使われているものだと分かった。 ・ 放射線をはかる機械があるので、見てみようと思いました。 ・ もっと、放射線のことを知りたいと思いました。 3. 放射線から身を守る方法を知る。 (ワークシートに記入) 4. 学校や地域での取り組みを知る。 ・ モニタリングポスト ・ プールや給食などの放射線検査 ・ 甲状腺検査 ・ 新聞やテレビなどの放射線量の記事 など	
〈成果〉	・ DVDが分りやすかったので、児童は、興味を持って学習することができた。 ・ 正しい放射線の知識を学ぶことで、身の回りに放射線があることや、使われていることを知ることができた。 ・ 健康で安全な生活を送るために、色々な取り組みがなされていることや、自分でどのように身を守るのかについても学ぶことができた。	
〈課題〉	・ 放射線に関しては、地域や保護者によって反応が違うので、問い合わせがあった際には管理職に相談しながら、慎重に対応していきたい。 ・ 教師が放射線についてもっと学んでいかなければならないし、今後は外部講師による専門的な授業も必要なのではないかと感じた。	
資料作成担当者職 (教諭)	氏名 (中野裕子)	学校電話番号 (26-3529)

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)